



Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム報告 カリコム若手外交官・行政官グループ

1. プログラム概要

Juntos!! 対日理解促進交流プログラムの一環として、カリコム諸国より若手外交官及び行政官計14名が、12月4日～12月12日（8泊9日）の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。滞在中は東京のみならず地方訪問等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

2. 参加国・人数

アンティグア・バーブーダ1名、ガイアナ1名、グレナダ1名、ジャマイカ1名、スリナム1名、セントクリストファー・ネイヴィス1名、セントビンセント及びグレナディーン諸島1名、セントルシア1名、ドミニカ国1名、ハイチ1名、バハマ1名、バルバドス1名、ベリーズ1名（50音順）、カリコム事務局1名、計14名（若手外交官、行政官）

3. 訪問地

東京都、京都府、広島県

4. 日程

12月4日（日）

成田国際空港より入国
来日オリエンテーション

12月5日（月）

皇居・二重橋視察
外務省オリエンテーション
日本語学習講義
外務省ブリーフィング
「日本と国連」、「日本の核軍縮政策概観」、「日本のSDGs実施に向けた取組」
滝沢求外務大臣政務官表敬
外務省ブリーフィング
「日本の対カリコムODA」
銀座・歌舞伎座視察

12月6日（火）

外務省ブリーフィング

「気候変動交渉と日本の取組」、「捕鯨問題」等

日・カリブ交流年担当大使表敬

東京海洋大学越中島キャンパス視察、講義「東京海洋大学の活動とエコ船のバッテリー・システム」

急速充電対応型電池推進船「らいちょう」試乗

千葉工業大学東京スカイツリータウンキャンパス視察

外務省中南米局長主催レセプション

12月7日（水）

お台場視察

パナソニックセンター東京視察

有明清掃工場視察

東京都庁訪問、都庁展望室視察

ジャマイカ政府観光局日本事務所による講演「日本人に伝える Jamaica の魅力」

12月8日（木）

東京都から京都府へ移動

京都府庁訪問、府庁視察（屋上庭園など）

清水寺視察

12月9日（金）

龍安寺・金閣寺視察

京都府から広島県へ移動

原爆ドーム・平和記念公園・平和記念資料館視察、被爆者講話

12月10日（土）

宮島・厳島神社視察

広島城視察

広島県から東京都へ移動

12月11日（日）

築地市場視察

HONDA ウェルカムプラザ青山視察

明治神宮視察

浅草・秋葉原視察

12月12日（月）

ワークショップ

報告会

成田国際空港又は羽田国際空港より出国

5. プログラム記録写真



12/5 滝沢求外務大臣政務官表敬



12/7 パナソニックセンター東京視察



12/7 東京都庁視察



12/8 京都府庁視察



12/9 金閣寺視察



12/9 広島平和記念公園視察



4. 参加者の感想（抜粋）

◆ セントビンセント及びグレナディーン諸島 行政官

私の最も重要な印象は、日本の人々がとても高度に発達した社会を創るために深く鍛錬を積み、その一方伝統と文化の最高の部分を捨てていないということでした。

◆ バハマ 行政官

プログラムスケジュールはきつかったですが日本の歴史、文化、政策について価値ある洞察を与えてくれました。私が出会った日本人はこのプログラムの担当者から通行人に至るまでとても親切で丁寧でした。様々な訪問地でほんの少ししか関わることが出来なかった名前も知らない日本人も含めて、みなさんに感謝しています。

◆ ハイチ 外交官

私は日本こそが平和な世界を作るための中心になると信じています。

◆ ガイアナ 行政官

文化的尺度が大学や会社に根付き、これが日本の経済の成長という面に関して良い影響を与えていると思います。その一方、高齢社会が労働力に影響を与えているとういことを学びました。

5. 受入れ側の感想

◆ 講師

カリコム諸国の方々へ講義をさせて頂く貴重な体験をいただき感謝しています。

6. 参加者の対外発信

	
各視察先についての発信 (Facebook)	外務省サイトをリンクシェア (Facebook)

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャーフェアへの参加 ・SNS への投稿 ・家族、友人へ日本で得た知識、情報を共有 ・Juntos プログラム参加者の同窓会実施 	<p>など</p>